

# 第3回 退院調整・地域連携打ち合わせ会 報告書

資料 1-3

日 時	平成29年3月5日(日) 9:30~12:30
場 所	高松市医師会館 5階ホール
参加者	<p>114名</p> <p>【内訳】 ○医師20人 ○歯科医師4人 ○薬剤師7人 ○保健師・助産師・看護師22人 ○訪問看護師10人 ○歯科衛生士5人 ○理学療法士3人 ○作業療法士5人 ○言語聴覚士3人 ○ ケアマネジャー13人 ○社会福祉士15人 ○事務4人 ○その他3人 等</p>
内 容	<p><b>1 事例検討</b></p> <p>(1) 検討メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆司会/医師:三宅委員      ◆事例提供:松本委員</li> <li>◆在宅療養支援診療所/医師:西口 潤氏(あさひクリニック院長)</li> <li>◆介護老人福祉施設/施設長:古川委員</li> <li>◆介護老人福祉施設/看護師:藤原 智枝子氏(シオンの丘ホーム)</li> <li>◆ケアマネジャー:黒川 真由美氏(大寿苑老人介護支援センター)</li> <li>◆地域連携室/MSW:川口 直行氏(高松市民病院地域医療連携室/HHC)</li> </ul> <p>(2) 検討内容</p> <p>テーマ:人生の最終段階において、可能な限り意向に沿った療養を可能にするための 地域医療・介護連携のあり方について考える</p> <p>松本委員から事例紹介があり、参加者同士で検討していただく。その後、検討メンバーにより様々な方向から、課題解決に向けた話し合いを進めた。</p> <p><b>2 講演</b></p> <p>テーマ:徳島市における在宅医療と介護への取り組み</p> <p>講師:徳島市医師会 常任理事 豊田 健二氏(豊田内科院長)</p> <p>主な内容は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市の強みは、地理的に恵まれた環境と医療・介護の資源が豊富なこと。</li> <li>・医療分野は在宅医療支援センター(H26~)、介護分野は地域包括支援センター(H18~)を徳島市からの委託事業として実施し、H26.11~「とくしま在宅医療と介護の総合支援センター」として、両センターをワンフロアに集約し、一体的に運営できる環境を作っている。</li> <li>・H18~徳島市の医師会主導で在宅連携委員会を開催、H24~厚労省の在宅医療連携拠点事業(モデル事業)を活用し、基金を使って運営、H25~徳島県から徳島市に事業に間接的に参加するよう依頼してもらい、徳島市との連携が加速した。</li> <li>・H28~徳島市からの委託を受け、在宅医療・介護連携推進事業として実施。</li> </ul> <p>現在の主な取り組みは下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多職種共通パンフレットや共通連携トクシノートの作成</li> <li>●キーパーソン3(在宅医・訪問看護師・ケアマネの3者事例検討会)</li> <li>●ケアマネプラス(ケアマネと多職種連携会議)</li> <li>●在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)(在宅主治医が見つからない患者に対し、依頼が</li> </ul>

ら48時間以内に主治医を決定して在宅医療を開始)

- とくしまスクウェア会議(がん診療連携拠点病院・ホスピス・行政・医師会の連携会議)
- 徳島あんしんタッグ(徳島市と医師会に寄る在宅医療・介護整備の意見交換会)
- ICTを利用した情報共有: バイタルリンク
- とくしま在宅医療と介護の相談支援センター(在宅療養を支える相談窓口)
- ニコイチ会議(在宅医療支援センターと包括の定期的な情報交換会)
- 在宅緩和ケア研修会、ケアマネ・ブラッシュアップセミナー
- 市民公開講座(年1回)、出張出前講座
- 徳島保健所との連携による退院支援ルールの策定
- 四国四市医師会 在宅部会 WEB会議(地域格差の是正) 等

・今後の地域包括ケアの実現に向けて

- ①かかりつけ医の普及と負担の少ない在宅医療体制づくり
- ②医師会と行政(市・県)との協力体制の構築
- ③徳島市民への理解と協力依頼
- ④多職種の相互理解と緊密な連携